

基調講演、取組紹介 概要

1 基調講演

(株)地域計画建築研究所（アルパック）主席研究員 黒崎晋司

テーマ ゼロカーボンに向けた取組を地域で盛り上げていきましょう

- ・会場参加者とイベントの目標や進め方について共有し、自分ごと化していきましょうとの呼びかけがあった。
- ・取組を考えるにあたっては、本県の強みや弱みに、世の中の状況（機会や自然災害などの脅威）を掛け合わせてみることで、取組のヒントやアイデアなどが生まれることを説明。
- ・「行政主導」から「地域主導型」で市民からアプローチすることの重要性とともに、県のゼロカーボンに対する施策や考え方についても、第三者的立場から参加者に伝えていただいた。



2 取組事例紹介

(1) 白馬高等学校 浦野心結、岡本葵、デイリー茉莉沙（いずれも1年生）

テーマ 教室の断熱改修ワークショップ

- ・白馬で雪が少なくなったことを気象データや写真で説明、スキー場に雪が少なくなったことで危機感を覚え、グローバル気候マーチに参加、断熱ワークショップを開始
- ・手がかかる教室から生徒自ら地域等の協力を得て断熱DIY実施、効果を説明
- ・今後は全ての教室を断熱したいという思い、資金の調達には課題を覚えている。



(2) (株)レゾナック・グラファイト・ジャパンアジアビジネス統括本部大町事業所
アドバイザー 稲田達也
同 製造・工務部エンジ課 兼 大町事務所 SDGs 推進課アシスタントマネージャー 村上 颯
テーマ レゾナック・グラファイト・ジャパンの水利システムと地域貢献について

- ・水利権許可をベースに地域の水を農業や発電用水に利用している水利システムの説明があった。
- ・事業所での CO₂ 排出量は少なくないが、ボイラーの燃料を木質チップや LNG に転換することで、相当量を削減。
- ・今後実施する具体的な施策を説明しながら、削減見込みの数値を共有。



(3) 北アルプス森林組合 代表理事組合長 割田俊明
テーマ 未来の子供たちのため、市民参加の脱炭素世界を目指そう！北アルプス地域から

- ・地産地消による資源循環型まちづくりの構想について、説明があった。
- ・未利用木材や不要枝条などは捨てるものではなく、すべて再生可能エネルギーとして使用するが、乾燥が課題。温泉熱や地熱、工場排熱などを利用するアプローチがある。
- ・教育面でも CO₂ 削減をコンセプトとした体験型教育プログラムを大学と共同して実施



(4) 大町市長 牛越徹

テーマ ゼロカーボンシティの実現に向けて

- ・大町市の CO₂ 排出量や再エネ生産量などの現状や削減目標について共有
- ・市役所が実施している小水力発電や太陽光設備、LED 化や公用車の EV 更新など説明
- ・市民への補助金などの支援や情報発信、最新状況を共有

